

# 委員会活動計画書

委員長 坪川トモ子

<b>【委員会名】</b> 国家試験委員会		
<b>【メンバー】</b> ◎坪川トモ子（新潟青陵大学看護学部） ○大西真由美（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科） 板垣昭代（独協医科大学看護学部） ¥大谷喜美江（日本赤十字豊田看護大学看護学部） 齋藤公彦（福山平成大学看護学部） 播本雅津子（名寄市立大学保健福祉学部） ◎委員長、○副委員長、¥会計担当、*会員校以外の委員、（ ）所属名、50 音順		
<b>【活動方針】</b> 1. 毎年の保健師国家試験の出題内容に関する意見をとりまとめ、及び受験環境に係る国に意見書を提出する。 2. 保健師国家試験の質向上に向け、現行出題基準の点検・評価を行う。 3. 国家試験問題作成のための研修会を実施し、教員の問題作成、クリティーク、ブラッシュアップできる力を育成する。 <数値目標> 国家試験アンケート回収率		
<b>2019 年度</b>		
<b>達成目標</b>	1. Web 調査による第 106 回保健師国家試験に係る問題内容調査を会員校の協力を得て、国家試験問題の適正化改善に寄与する。 2. 会員校の協力を得て、受験生に対する Web 調査による第 106 回保健師国家試験に係る環境調査を行い、国家試験受験環境の改善に寄与する。 3. 学校別保健師国家試験合格率の推移等など国家試験対策の基礎資料を蓄積していく。 4. 2019 年の夏期研修の分科会の実施、及びブロックからの国家試験に関する研修依頼に随時対応し、会員校教員の問題作成の力量アップを図る。	
	1. 第 106 回保健師国家試験について、会員校に対する内容調査および受験生に対する環境調査を実施し、結果に基づく要望書を厚生労働省に提出する（2 月）。 2. 上記内容調査の際は、複数校による検討を推奨し、教員の力量向上と信頼性を確保する。 3. 保健師国家試験合格状況を分析し、保健師の教育や養成などを検討する基礎資料を作成する。 4. 夏季研修の分科会の企画実施、ブロックからの研修講師要請に応じ講師を務める。その旨も周知する。	
<b>活動計画</b>	<b>【年間スケジュール】</b>	
	時 期	内 容
	6 月	第 1 回委員会：国家試験合格状況分析、夏季研修分科会の企画
	8 月	第 2 回委員会：夏季研修分科会の打ち合わせと実施
	11 月(理事会)	第 106 回 PHN 国試調査実施の審議、国家試験合格状況分析報告
	12 月中	PHN 国試調査の準備 ・内容調査：Survey monkey での調査票作成⇒URL 設定
	1 月中旬	会員校宛て、PHN 国家試験問題調査依頼文の発出
	2 月上旬	*2020 年度活動計画提出
	2 月第 206 回 PHN 国家試験日	問題入手⇒会員校への配信
	2 月 20 日(木)～22 日(土)	第 3 回委員会：内容調査結果の検討と厚生労働省への意見書作成
	2 月 24 日(月)	厚生労働省看護課への要望書提出
	3 月(理事会)	国家試験調査結果の報告
	3 月下旬	協議会 HP とメールマガジンによる調査結果配信
3 月合格発表以降	養成校種別合格率の集計 data 集積	
4 月上旬	*2019 年度活動報告提出	